

予算常任委員会報告

6月20日 開催

委員長 森田 則子

予算常任委員会に付託されました「令和6年度能勢町一般会計補正予算(第1号)」について、委員会を開催し予算内容を審議した結果、賛成全員で可決すべきものと決定しました。

主な質疑応答は次のとおりです。

問 不動産鑑定料について問う。

答 旧東保育所の不動産鑑定で、郵便事業者から施設整備したいとの要望を受けて行うもの。敷地面積2276㎡、建物567㎡で、建物も併せて売却となる。
保管されていた文化財については生涯学習センター移設に合わせて所管課と調整し検討して行く。

問 新規就農者育成総合対策事業補助金の内訳について問う。

答 当初、経営発展支援事業(1名)・経営開始支援事業(5名)への支援に1125万円を計上して行う事業であったが、経営開始支援事業から2名が経営発展支援事業に移行することにより、予算を増額するものである。

問 電力等価格高騰緊急支援給付金について問う。

答 定額給付金で減税しきれない方への調整給付を計上し、令和6年個人住民税の課税台帳より1739人を見込んでいる。時期は、7月までに対象者へ確認書を発送し、提出後8月末までに第1回目の支給を進めたい。

問 消防団員退職報償金について、現在の隊員数と再編の状況、今後の方針について問う。

答 昨年427名で5年度の退団が35名(5年以上の在籍者30名)、入団が13名で現在は405名が登録されている。再編検討委員会が、昨年5回開催された。令和6年度から検討委員会のメンバーが変わり、第1回目の委員会を6月末に予定している。今後は、班単位での団員確保が厳しい状況であることから、広域での消防団活動を委員会で検討して行く。

問 農山漁村発イノベーション整備事業補助金の事業内容および運営について問う。

答 能勢けやきの里の整備事業費補助金である。人口減少や高齢化に伴う活力の低下、定住、地域交流を促進するためハード整備の補助をメインとして行うものである。
農事組合法人が取り組み、農産物販売を引き続き行う他、新たに新商品の企画や、加工品を開発し、軽食も提供する。目標売上を3000万円増、来場者数3万2千人をめざして行くことを確認している。

令和6年 能勢町議会5月会議報告

5月13日開催

5月会議には、報告2件、その他1件が提出され、賛成全員により可決されました。

◇請負契約の締結について

能勢町役場旧庁舎等解体工事

契約の方法

一般競争入札

契約金額

1億6,298万9,200円

契約の相手方

株式会社福田組